

9 漢字を書くと 4 ①	学年	
	組	
	名前	

1

を漢字で () に書きましょう。

- | | | | |
|-----|------------|-----|-------------|
| () | ① 読みくらべる | () | ① ふじん服 |
| () | ② へんしゅうの仕方 | () | ② せいきんをおさめる |
| () | ③ へいきんを求める | () | ③ よういの問題を解く |
| () | ④ げんいんが分かる | () | ④ しゆくしゃにとまる |
| () | ⑤ きょうみや関心 | () | ⑤ ほけんしつ |
| () | ⑥ 記事のないよう | () | ⑥ るすばん |
| () | ⑦ じけんが起きる | () | ⑦ せいけつに保つ |
| () | ⑧ じこを防ぐ | () | ⑧ 理由をしめす |
| () | ⑨ 六つのようえ | () | ⑨ 大臣をこえいする |
| () | ⑩ 新聞を持ちよる | () | ⑩ につていを組む |

9 漢字を読むむ 4 ②	学年	
	組	
	名前	

1 | _____ の漢字の読みがなを () に書きましょう。

③ 漢字ノートに練習

- | | | | |
|-----------|-----|-----------|-----|
| ① 道徳の勉強 | () | ⑪ 寄付をつくる | () |
| ② 移り変わる | () | ⑫ 易しい問題 | () |
| ③ 勢いがある | () | ⑬ 健康を保つ | () |
| ④ 夢を見る | () | ⑭ アメリカ留学 | () |
| ⑤ 均一に並べる | () | ⑮ ボタンを留める | () |
| ⑥ 人工衛星 | () | ⑯ 指示を出す | () |
| ⑦ 大名行列 | () | ⑰ 保護者 | () |
| ⑧ 雨天決行 | () | ⑱ 不潔にしない | () |
| ⑨ セーターを編む | () | ⑲ 徳用品 | () |
| ⑩ 町を復興する | () | ⑳ 消費税 | () |

30	はがきを書く	学年	
		名前	
		組	

平成21年度
全国学力・学習状況調査
国語A問題
平均正答率
全国 67.1%

1 小林さんは、転校していった友だちにはがきを書くこと

にしました。はがきの表に名前や住所を書きます。

次のア、イ、ウ、エの中に入るふさわし

いものを、下の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、

☆ その記号を書きましょう。

郵便はがき

ア

イ

ウ

エ

- 1 自分の名前
- 2 相手の名前
- 3 自分の住所
- 4 相手の住所

ア () イ () ウ () エ ()

「読むこと」に関する問題

年
 組
 番
 氏名

◇ 村田さんのクラスでは、新美南吉の作品を読み合い、その作品のよさを紹介する活動を計画しています。村田さんのグループは『あめだま』という作品についてクラスのみんなに伝えることにしました。

春のあたがい日のこと、わたし舟にふたりの小さな子どもをつれた女の旅人がのりました。舟が出ようとするど、「おおい、ちよとまってくれ。」と、どてのむこうから手をふりながら、さむらいがひとりと走ってきて、舟に飛びこみました。舟は出ました。

さむらいは舟のまん中にどっかかりすわつていました。ほかほかあたがかいので、そのうちにいねむりをはじめました。黒いひげをはやして、鼻そらなきむらいが、こつくりこつくりするので、子どもたちが、おかしくして、あふとわらいました。おかあさんは口に指をあて、「だまっておいで。」

と、いきました。さむらいが抱こつてはいくんだからです。

子どもたちはだまりました。おかしくして、さむらいが、あめだまをようだい。「かアちゃん、あめだまをようだい。」と手をさししました。すると、もうひとりの子ども、「かアちゃん、あたしにも。」と、いきました。

おかあさんはふところから、紙のあくるをとりだしました。ところが、あめだまはもう一つしかありませんでした。

「あたしにちょうだい。」
 「あたしにちょうだい。」
 ぶたりの子どもは、両方からせがみましだ。あめだまは一つしかないので、おかあさんはこまごましてしまいました。

「いい子たちだからまごめておいで。おこい子たちからまごめておいで。」

うつついたら買ってあげるからね。」
 うだいよオ、ちようだいよオ、とだたをこねました。
 いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱつちり目をあけて、子どもたちがむむのを見ていました。

おかあさんは抱ざるきました。いねむりをじやまされたので、この抱さむらいはおこつているのにちがいない、と思いました。「おどなくしておいで。」

と、おかあさんは子どもたちをなだめましだ。けれども子どもたちはききません。

するとさむらいが、すらりとかたなをぬいて、おかあさんと子どもたちのまえにやつてきました。

おかあさんはまっさおになつて、子どもたちをかばいました。いねむりのじやまをした子どもたちを、さむらいが

と思つたのです。
 「あめだまをだせ。」
 とさむらいはいいました。

おかあさんは抱そる抱そるあめだまをさしだしました。

さむらいはそれを舟のへりにのせ、かたなでばちんと二つにわりました。

そして
 「それ。」
 とぶたりの子どもに

それから、またもどどとこに帰つて、こつくりこつくりいねむりをはじめました。【あめだま】新美南吉

(二) 文中の「ア」、「イ」には、それぞれどのような言葉が入るでしょう。正しいと思う組み合わせを一つ選びましょう。

- () ア しかりつける イ ほめてやりました
- () ア 切りこらす イ わけてやりました
- () ア 切りこらす イ なげつけました
- () ア ほめる イ 買ってやりました

(二) 村田さんたちは、次のように発表の原こうを作っています。

この話のおもしろさは、二つ考えられます。

一つ目は、母親の緊張感が高まっていく様子から、最後の場面で「二つ目は、かたなを持った二ねそうなおさむらいが、ゆかいにえがかれているところです。このゆかいなえがかれ方が、新美南吉らしいほのぼのとした作品のふんい気につながっていると感じました。

……

○ 本文中の①——は、原こうの中の「一つ目 二つ目」のどちらのおもしろさにかかわりがありますか。に書きましょう。

① それから、またもどどどろに帰って、二つくり二つくりねむりはじめました。

一つ目のおもしろ

○ 新美南吉は、四年生で学習した『こんぎつね』の作者でもあるので、読み比べてみました。そして原こうに次の文も入れようと思いましたが、次の文は、一つ目 二つ目のどちらに入りますか。に書きましょう。

『こんぎつね』の中で、最後にこんがらがらなずいた場面と似ています。

二つ目

9 漢字を書くと4①	学年	
	組	
	名前	

1

を漢字で () に書きましょう。

- ① 読みくらべる (比)
- ② へんしゅうの仕方 (編集)
- ③ へいきんを求める (平均)
- ④ げんいんが分かる (原因)
- ⑤ きょうみや関心 (興味)
- ⑥ 記事のないよう (内容)
- ⑦ じけんが起きる (事件)
- ⑧ じこを防ぐ (事故)
- ⑨ 六つのようす (要素)
- ⑩ 新聞を持ちよる (寄)

▼「衛」の「部首」は何でしょう。○をつけましょう。

() きようにんへん
() きようがまえ

「9漢字を読む4①」の3問題
の正解は、「何かをするのに時間も
労力もあまりかからない」という意味
です。
容易と似ている言葉は、「簡単」
です。

- ⑪ ふじん服 (婦人)
- ⑫ ぜいきんをおさめる (税金)
- ⑬ よういの問題を解く (容易)
- ⑭ しゅくしゃにとまる (宿舎)
- ⑮ ほけんしつ (保健室)
- ⑯ るすばん (留守番)
- ⑰ せいけつに保つ (清潔)
- ⑱ 理由をしめす (示)
- ⑲ 大臣をこえいする (護衛)
- ⑳ にっていを組む (日程)

9	学年	
	組	
漢字を読む 4 ②	名前	

1 | — | の漢字の読みがなを () に書きましょう。

- ① 道徳の勉強 (どうとく)
- ② 移り変わる (うつ)
- ③ 勢いがある (いきお)
- ④ 夢を見る (ゆめ)
- ⑤ 均一に並べる (きんいつ)
- ⑥ 人工衛星 (えいせい)
- ⑦ 大名行列 (だいみょう)
- ⑧ 雨天決行 ☆ (うてん)
- ⑨ セーターを編む (あ)
- ⑩ 町を復興する (ふつこう)

- ⑪ 寄付をつのる
- ⑫ 易しい問題
- ⑬ 健康を保つ
- ⑭ アメリカ留学
- ⑮ ボタンを留める
- ⑯ 指示を出す
- ⑰ 保護者
- ⑱ 不潔にしない
- ⑲ 徳用品
- ⑳ 消費税

- (きふ)
- (やさ)
- (たも)
- (りゅうがく)
- (と)
- (しじ)
- (ほごしゃ)
- (ふけつ)
- (とくよう)
- (しょうひせい)

☆ 天気に関係のある言葉を集めてみましょう。
「雨天」「晴天」...

新聞の天気予報らんを見てみましょう。

30	学年	1
	組	
はがきを書く	名前	

平成21年度
全国学力・学習状況調査
国語A問題
平均正答率
全国67.1%

小林さんは、転校していった友だちにはがきを書くこと

にしました。はがきの表に名前や住所を書きます。

次の ア □ イ □ ウ □ エ □ の中に入るふさわし

いものを、下の1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、

☆ その記号を書きましょう。

1	自分の名前	ア
2	相手の名前	イ
3	自分の住所	ウ
4	相手の住所	エ

ア (4) イ (1) ウ (3) エ (1)

☆冬休みに入ります。
ぜひ、友達や先生、親せきの方などはがきを書いて出しましょう。

【解答例と解説】

(一) 解答は ア きりこす イ わけてやりました の組み合わせ

ア の前におかあさんが「まっさねになって、こどもたちをおかばいました」と書いてあります。「まっさね」になって「かばう」という動作は、こどもに危険がせまっているからに他なりません。考えられる危険は、「斬り殺」されることでしょう。

1 は、「それね」という言葉は、「ほめてや」る、「なげつけ」るときのことばとしてはふさわしくないものです。「買ってや」るのは舟の上なので無理です。したがって、「わいさむらいが、おそろしいかたなでしてや」たことはばちんと二つに「わけてや」った、ということでしょう。

(二) 解答は、**二** 二つのおもしろさ です。

おかあさんはじめ、周囲のひとたちはおさむらいをこわく感じていたことでしょう。このおさむらいが、かたなをすらいと抜き、ふたりにあめをわけてあげたあと、つまり周囲をふるえあがらせたあと、また二つくりこくりねむりはじめた様子は、間が抜けているでしょう。このゆかいさを取り上げています。

○ 解答は、**一** 一目 です。

『あめだま』は、最後の最後に緊張がとけ、和やかにお話が終わります。一方『こんきつね』は、こんを鉄砲で撃った兵十が、くりなどをもってきたのがこんだと最後の最後に知る、というなんとも切ない終末です。どちらも、最後に読者をゆさぶる大きなどんでん返しが仕組まれているのです。一方は和やかな終わり方でもう一方は悲しい結末というところがいますが、最後の場面で一気にどんでん返しがるという点では二つのお話は似ているといえます。